

資料 1

平成19年9月21日
まちづくり調整・都市整備委員会資料
都市整備局

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業の状況について

1 最近の経緯

- 平成19年 2月 管理処分計画決定
3月 従前資産取得契約及び土地明け渡し補償契約完了
5月 地区内既存建物の立ち退き及び仮設店舗への移転完了
特定建築者決定（5月30日）
6月1日 仮設店舗（戸塚ウエストA館～D館）オープン、通路切替、
解体工事着手

2 現在の状況

(1) 解体工事

地区内にあった建物（95棟）について、建物上屋の解体を終了し、現在、基礎杭など地中に埋設されている物件の撤去工事を行っています。（別添写真）

(2) 公共施設整備工事及び共同ビル建築工事

ア 公共施設（第1交通広場及び地下通路）整備工事

10月の着工に向け関係機関との調整を進めています。

イ 共同ビル建築工事

特定建築者が、建築確認申請の手続きを進めています。

ウ 仮設店舗（戸塚ウエストE館及びF館）建築工事

9月10日に現地での工事に着手し、当初予定の12月オープンに向けて整備を進めています。

3 今後のスケジュール

- 平成19年10月 公共施設（第1交通広場及び地下通路）整備工事着手
12月 共同ビル建築工事着手、仮設店舗（戸塚ウエストE館及びF館）
オープン、
21年秋 第1交通広場供用開始
22年春 商業施設完成
24年秋 第2交通広場及び公益施設（区役所及び文化施設）完成

4 戸塚駅周辺整備事業デザイン委員会

(1) 目的

戸塚駅周辺のさらなる魅力アップに向け、戸塚駅周辺の公共施設及び再開発ビル等を、快適で魅力あるものにするため、有識者による「戸塚駅周辺整備事業デザイン委員会」を設置し、検討を進めています。

【委員の構成】

都市計画、土木、建築、都市緑化、照明デザイン、都市デザインの有識者	計6名
都市計画	高見澤 邦郎 首都大学東京 名誉教授 (委員長)
土 木	佐々木 葉 早稲田大学創造理工学部社会環境工学科教授
建 築	佐々木 龍郎 東海大学情報デザイン工学部建築デザイン学科准教授
都市緑化	井口 義也 (財)都市緑化技術開発機構研究第1部長
照明デザイン	面出 薫 武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科教授
都市デザイン	国吉 直行 横浜市都市整備局上席調査役

(2) 検討内容

- ① 戸塚駅周辺全体のデザインコンセプトに関すること
- ② 再開発ビル等の形態及び色彩等に関すること
- ③ 公共施設の形態及び色彩等に関すること

(3) 進め方

平成19年8月28日に第1回を開催しました。

今後、本年10月下旬に、「施設デザインの素案」を公表し、市民や権利者の意見募集を行い、本年度内に「施設デザインの方針」をまとめていく予定です。

別添写真



戸塚郵便局屋上から駅方向を望む(9月13日撮影)



航空写真(8月10日撮影)